

平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	高血圧の者（非肥満を含む）に対する介入モデル事業			担当部局庁	保険局			作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定) 年度	平成27年度	担当課室	医療介護連携政策課医療費適正化 対策推進室			室長 安藤 公一	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する計画、 通知等	—				
主要政策・施策				主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	特定健診を受けた者のうち保健指導の対象とならない非肥満の高血圧者に対して実施する生活習慣改善プログラムを検証し、第3期特定健康診査等実施計画(平成30年度～)における特定健康診査等の事業内容の見直しのためのエビデンスとする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	学識経験者等有識者の意見を踏まえて、非肥満であるが高血圧リスクのある者に対する生活習慣改善プログラムを作成し、複数の保険者から抽出した保健指導対象者に、そのプログラムに基づいた保健指導を実施し、血圧低下などそのプログラムの効果を検証する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の状 況	当初予算	-	-	30	10	-		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		0	0	30	10	0		
	執行額		-	-	29	-	-		
執行率 (%)		-	-	97%	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
	-	-	目標値	-	-	-	-	-	
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	
定量的な成果目 標の設定が困難な 場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24～26年度の達成状況・実績					
	非肥満の高血圧者に対して、どの程度の働きかけ(生活習慣改善プログラム)を行うと、どの程度の生活習慣改善効果が現れるかを検証する、エビデンスを得るための事業であり、現時点で検証中のプログラムによる定量的な目標を設定することは困難である。			非肥満の高血圧者に対して、どの程度の働きかけ(生活習慣改善プログラム)を行うと、どの程度の生活習慣改善効果が現れるかを検証する、エビデンスを得る。26～27年度の2年を一つのスパンとして行う検証事業であるため、26年度の実績は出ない。					
事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度	
	生活習慣改善プログラムの実施により、血圧改善などの効果を得ることができた者を50%以上とする。(26～27年度にまたがってプログラムを実施し、27年度中に効果測定を行うため、26年度終了時点では実績は出ない。)	プログラムの実施により血圧改善効果が現れた者	実績	人	-	-	-	-	
			目標値	人	-	-	-	100	
達成度			%	-	-	-	-		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	生活習慣改善プログラムの完了者数(27年度において測定)			活動実績	人	-	-	-	-
				当初見込み	人	-	-	200	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X/Y=生活習慣改善プログラム効果検証費用			単位当たり コスト	円/人	-	-	29,058,200	10,000,000
				計算式	X/Y	-	-	29,058,200/1	10,000,000/1
				X:事業費 Y:効果検証の結果					

平成27・28年度予算内 訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	医療費適正化業務庁費	10		
計	10	0		

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国民の生活習慣病予防対策は、広く国民のニーズがあり、国費を投入し国が主体的に取り組むべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国民の生活習慣病予防対策は、広く国民のニーズがあり、国費を投入し国が主体的に取り組むべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	第3期特定健康診査等実施計画(平成30年度～)における特定健康診査等の事業内容の見直しのため、必要である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札(総合評価落札方式)により選定した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	一般競争入札(総合評価落札方式)により選定した。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	選定にあたっては事業見積もりを徹しており、妥当と判断した。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	選定にあたっては事業見積もりを徹しており、妥当と判断した。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	検証事業であり、実績を考慮したコスト削減の検討が難しいが、検証作業に影響を及ぼさない部分で、例えば有識者との打合せは有識者の上京時に合わせて実施するなどのコスト削減を図っている。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	本事業は26～27年度にかけて実施する生活習慣改善プログラムを平成27年度に効果検証するものであり、現時点で実績を評価することは難しい。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	生活習慣改善プログラムの作成にあたっては、効果的なものとするため、外部の学識経験者等の意見を踏まえたものとしている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	本事業は26～27年度にかけて実施する生活習慣改善プログラムを平成27年度に効果検証するものであり、現時点で実績を評価することは難しい。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	27年度に効果検証を行った後、特定健康診査等の事業内容の見直しのエビデンスとする予定である。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	26年度に作成した生活習慣改善プログラムを使った保健指導を引き続き実施しているところである。その効果検証はこの27年度中に実施される。				
	改善の方向性	平成26年度及び平成27年度限りの事業である。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	新26-025			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
29百万円

〔 今後の特定健診等事業の見直しのエビデンスとすることを目的として、生活習慣改善プログラムの効果を検証するため、その検証事業実施を事業 〕

【企画競争】 ↓

A 株式会社 ベネフィットワ  
ン・ヘルスケア  
29百万円

〔 有識者の意見を踏まえて生活習慣改善プログラムを策定し、その効果検証事業を実施 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.株式会社 ベネフィットワン・ヘルスケア			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	生活習慣改善プログラムの作成・実施	29			
計		29	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

**支出先上位10者リスト**

A株式会社 ベネフィットワン・ヘルスケア

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 ベネフィットワン・ヘルスケア	生活習慣改善プログラムの作成・実施	29		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					